

## 工事事故(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事故が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事故が再び発生することのないように工事事故概要を皆様にお知らせいたします。

本資料を活用し、受注者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願いいたします。

### 【工事事故(速報)発生状況】 (H28.10.31現在)

	10月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成28年度(今年度)	7件	32件	1人	10人
平成27年度(昨年度)	10件	57件	4人	15人

注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事故発生件数(速報)を示す。

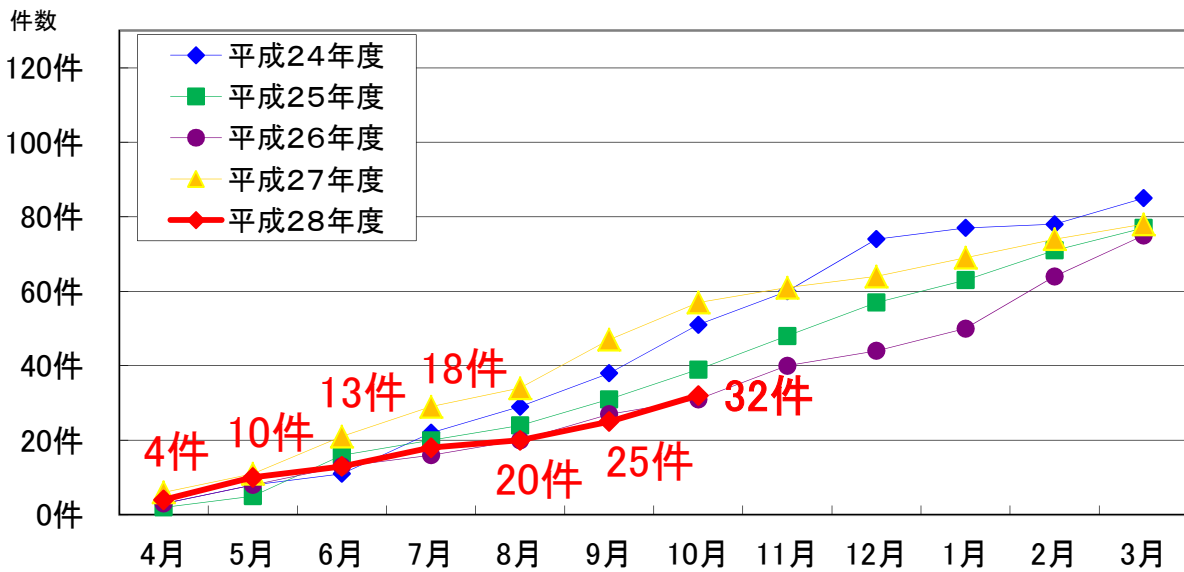
注2) 「10月発生件数」は、10/1～10/31の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～3/31の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～3/31の累計人数を示す。

注5) 平成28年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

#### ●工事事故件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成24年度 累計	3件	8件	11件	22件	29件	38件	51件	60件	74件	77件	78件	85件
(月毎)	(3件)	(5件)	(3件)	(11件)	(7件)	(9件)	(13件)	(9件)	(14件)	(3件)	(1件)	(7件)
平成25年度 累計	2件	5件	16件	20件	24件	31件	39件	48件	57件	63件	71件	77件
(月毎)	(2件)	(3件)	(11件)	(4件)	(4件)	(7件)	(8件)	(9件)	(9件)	(6件)	(8件)	(6件)
平成26年度 累計	3件	8件	13件	16件	20件	27件	31件	40件	44件	50件	64件	75件
(月毎)	(3件)	(5件)	(5件)	(3件)	(4件)	(7件)	(4件)	(9件)	(4件)	(6件)	(14件)	(11件)
平成27年度 累計	6件	11件	21件	29件	34件	47件	57件	61件	64件	69件	74件	78件
(月毎)	(6件)	(5件)	(10件)	(8件)	(5件)	(13件)	(10件)	(4件)	(3件)	(5件)	(5件)	(4件)
平成28年度 累計	4件	10件	13件	18件	20件	25件	32件					
(月毎)	(4件)	(6件)	(3件)	(5件)	(2件)	(5件)	(7件)					



発生日時	平成 28 年 10 月 8 日 (土) 11 時 0 分			
工事情報	河川系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	作物刈取り(里芋)
事故概要	築堤事業の用地買収箇所の除草作業中に買収予定地の除草作業を行い、耕作されていた里芋を刈り取ったもの 公衆損害-第三者の負傷・第三者車両に対する損害			

### 事故発生状況



除草前は、この部分のように雑草が茂り耕作していないと勘違いした。

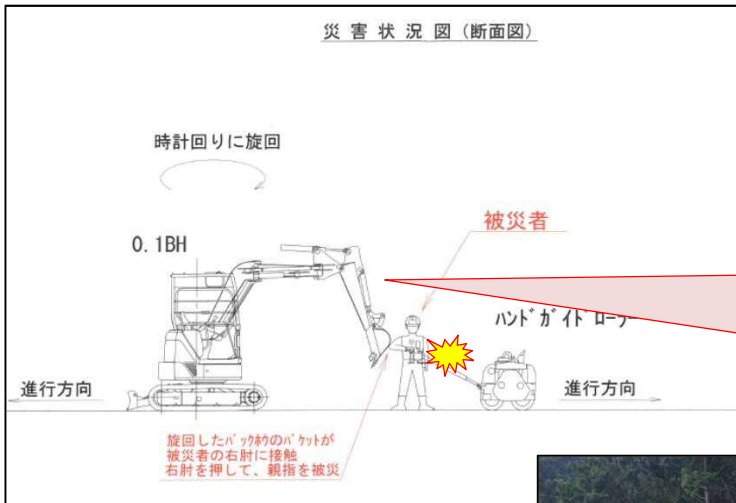
・除草作業(用地買収済箇所)の実施にあたり、農道を含め、周辺一帯に丈の高い雑草が繁茂し、確認が出来ない状況であった為、農道を先行して除草し、見通しを確保した。  
 ・隣接する未買収地は丈の高い雑草が茂っていたため、空き地と勘違いし進入路及び作業箇所として除草を実施した。  
 ・除草作業中に里芋の葉・茎に気づいたが、放棄した畑に自生しているものと1次下請け会社は思い込み、作業を続け里芋の葉・茎を雑草と一緒に刈り取った。  
 ・後日、耕作者から発注事務所に苦情が有り、初めて現場代理人は里芋の葉・茎を刈り取ったことに気づいた。なお、里芋自体は地中に残っており、11月中旬頃に耕作者により収穫の予定であった。

**【事故発生原因】**  
 ・現地にて買収済箇所と未買収地の確認が不足しており、区別せずに除草を実施した。(図面はあった。)  
 ・他の未買収箇所の所有者からは買収済箇所と合わせて、ついでに除草してほしいと依頼がもあり、当該箇所もその流れで除草を実施した など

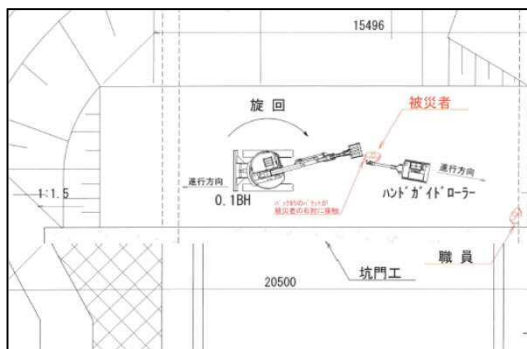
**【事故防止のポイント】**  
 ・事前に作業箇所の確認を徹底させる。  
 ・ポール等による作業箇所の明示など

発生日時	平成 28 年 10 月 11 日 (火) 16 時 30 分			
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	46	土工	右手親指開放骨折(全治3ヶ月程度)
事故概要	バックホウバケットが振動ローラーを移動させようとしていた被災者の右肘に当たり、右腕が前方に押し出されたため、右手親指が振動ローラーの操作盤の突起物に接触し、被災した。 労働災害-建設機械等の稼働に関連した人身			

## 事故発生状況



BHオペレータが、旋回方法を確認せずに旋回



- ・振動ローラーがくぼみにはまり動けなくなったため、待機中のバックホウを使用して、バケットで振動ローラーを押し出して脱出させた。
- ・オペレーターと作業員は、バックホウと振動ローラー双方を逆方向に移動させる打合せを行った。
- ・バックホウは移動方向へ左旋回した後、駐機位置への移動を開始した。
- ・バックホウは、移動しながら移動方向と逆方向に右旋回を行ったところ、旋回したバケットが、振動ローラーを移動させようとしていた被災者の右肘に当たり、右腕が前方に押し出されたため、右手親指が振動ローラー操作盤の突起部に接触し、被災した。
- ・オペレーターは、旋回方向の確認をせずに旋回したため、被災者と接触した。

### 【事故発生原因】

- ・誘導員が配置されていない
- ・BHオペレータが旋回方向を確認せずに旋回した(振動ローラーの移動がもたついていた)など

### 【事故防止のポイント】

- ・重機と接触の恐れがある箇所は誘導者を配置する
- ・重機周辺の安全確認を徹底させるなど

発生日時	平成 28 年 10 月 13 日 ( 木 ) 9 時 40 分			
工事情報	河川系事務所 業務			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	61	機長	左第二関節開放骨折(全治1ヶ月程度)
事故概要	ボーリングマシン操作中、指を挟み負傷(チャックレンチが装着されたまま回転)  労働災害-準備作業、測量調査業務等における人身事			

### 事故発生状況



・チャックレンチを装着したままスピンドルを回転させ、手を挟み負傷

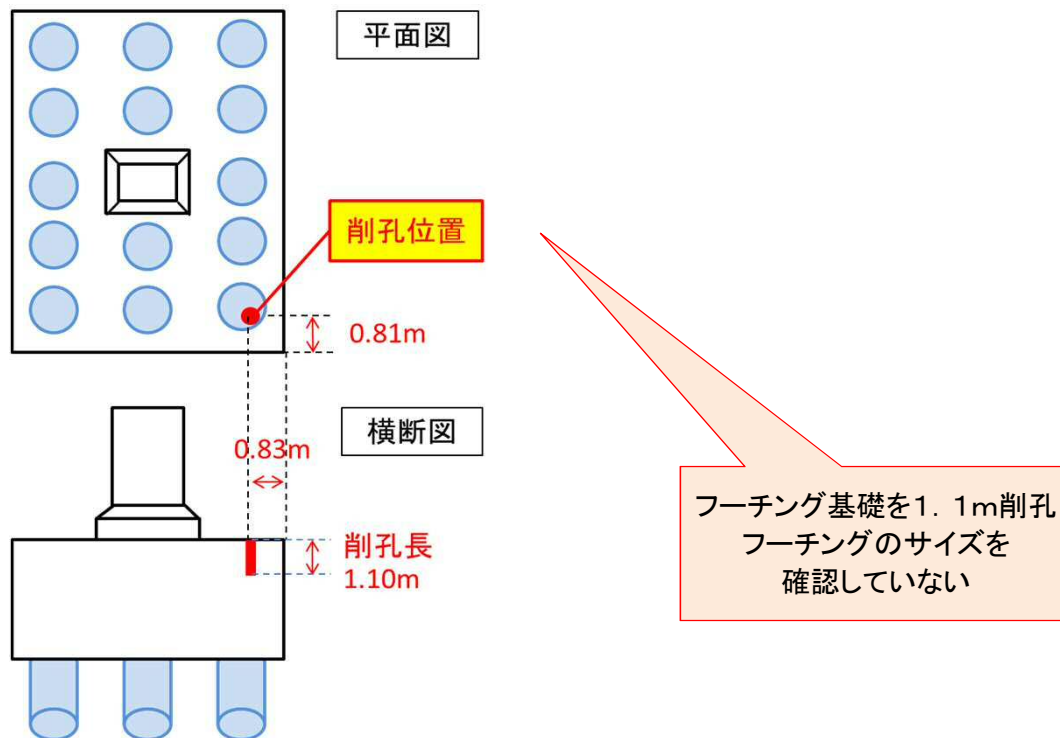
ボーリング掘進作業においてオペレーターがチャックレンチを締めて、助手に声かけ合図後、助手がクラッチレバーを上げ、スピンドルが回転しはじめた所、チャックレンチを装着したまま回転し、油圧シリンダーとチャックレンチの間に左人差し指を挟み裂傷したものである。

- 【事故発生原因】**
- ・チャックレンチを外れないまま、回転するように指示
  - ・スピンドル回転時、カバーを外していた
  - ・慣れによる不適切な作業をおこなった など

- 【事故防止のポイント】**
- ・声掛け合図や指差し確認の実施
  - ・スピンドル回転時はカバーをつけるなど

発生日時	平成 28 年 10 月 26 日 (水) 15 時 0 分			
工事情報	道路系事務所 業務			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	-	-	-	高速道路下部工損傷
事故概要	高速道路の下部工を機械ボーリングにより破損			
	公衆損害-地下埋設物件損傷			

### 事故発生状況



・地質調査(ボーリング)を実施中、高速道路の橋脚のフーチング基礎をφ86mmの径で天端から1.1mを削孔し、フーチングを損傷させた。  
 ・元請が入手した竣工図(橋梁一般図)の側面図をもとに、下請がボーリングの位置を決定。※下請は、フーチング位置を竣工図からスケールアップにより判断し、実際のフーチングサイズを確認しないまま、フーチングに当たる位置で現地調査の位置をマーキング。

**【事故発生原因】**  
 ・元請けによる作業計画、調査位置最終確認、チェックが徹底されていないなか調査を実施  
 ・下請けがフーチング位置を竣工図の側面図をもとに判断し、実際のフーチングサイズを確認しなかった など

**【事故防止のポイント】**  
 ・事前確認を徹底し、適切な作業計画を立てて調査を実施するなど